



二
月

パストラル尼崎

如
月

No.71 平成30年1月25日
〔編集・発行〕
パストラル尼崎
尼崎市潮江1丁目10-2
Tel. 06-6493-0521
Fax. 06-6493-0301
発行責任者：小川 和孝

◆二月の歳時記◆

「平安時代の美人の条件」

もうすぐ雛祭り。デパートに並ぶお雛様のお顔も、最近では、目がパッチリ西洋風だったり随分多様化していますよね。では、平安時代の美人の条件って、本当はどうだったのでしょうか？

一、色白で、きめ細やかな美肌・・・
フムフムこれは現在と同じですよ。



二、ふくよかで柔らかな頬・・・では、パストラル尼崎の「ポッチャリーズ」も平安時代だと絶世の美女グループだったかも・・・笑

三、切れ長の目でおちよぼ口・・・二重まぶたにまつ毛は濃く、大きめに口紅を引く今の化粧は、平安時代ではお化粧メイクだったかもしれせんね？

当時、男性は、女性の容姿を簡単に見る事はできませんでした。実際は、夜に、それも御簾を挟んで会話したりと、基本的には暗がりでしたか女性を見ることができなかったため、メイクは白粉に引眉、お歯黒とわかりやすく艶めかしいものが好まれていたとあります。

そんな事から、女性は、見た目だけでなく和歌の上手さや会話などの教養を磨きました。モテモテだったといわれる小野小町も、その容姿は不明ですが、あの紀貫之も「衣通姫（そとおひめ）の流れなり」と絶賛していますので、相当な知性の持ち主だったようですよ。（衣通姫は日本書紀などに登場する和歌二神の二柱で絶世の美女）＊諸説あり

灘五郷の ～酒蔵めぐり～

ここパストラル尼崎からほど近い、灘五郷（今津郷・西宮郷・魚崎郷・御影郷・西郷）は、昔から酒造に好適な米の産地に近く、六甲山系からの上質なミネラル水「宮水」にも恵まれていました。また高い技術をもつ丹波杜氏や、酒を江戸に運ぶための良港の存在などで、江戸時代以降、日本酒の大産地となりました。今でも、全国の四分の一のシェアを占めています。

灘の酒は「男酒」と呼ばれ、淡麗辛口が特徴です。これに対し京都の伏見の酒は甘口で濃厚なため「女酒」と呼ばれています。最近では灘の酒「福寿」が、ノーベル賞のパーティに提供されたと話題になりました。

また灘五郷は、仕込み期の新酒の香りが漂う地として「かおり風景100選」にも認定されています。通りを歩くだけでほろ酔い気分かも？

来る2月、「酒蔵開 西宮」が開催されます。しぼりたての新酒の利き酒や、新酒の酒かすの販売など、各蔵元が敷地を開放してイベントを行います。呑兵衛の皆さま、飲みすぎにご注意を～！笑



平成29年度 パストラルシニア大学



パストラルシニア大学も3年目。今年度も多彩な講師をお迎えし、内容も充実しています。毎回、講師陣からその授業姿勢を絶賛されている皆さま。今年も皆勤賞めざして頑張りましょう。

- * 毎回フロントにお申込み下さい(席に限りがあります)
- * 当日は、学生証も忘れずに！

【第9回講座】 「平安時代の日記からみる文学史」

- ・日時：2月16日(金) 14時～15時
- ・場所：多目的ホール
- ・講師：甲子園大学

助教 丹下 暖子 氏

現代の私たちがイメージする日記とは一味違う平安時代の日記を取り上げ、その役割や特徴、今なお色あせない魅力を紹介してまいります。

